



撮影：岩崎 勉議員

ご挨拶

安来市議会議長 田中 武夫



新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましてはつつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、安来市議会では、昨年11月より通年議会制度を導入しました。老朽化した公共施設を今後どのようにしていくのか、さらなる財政健全化をどのように進めていくのか、山積する諸課題に対し議論を深め、市民福祉の向上に資するよう議会活動をこれまで以上に活発化していきたいと考えております。

当議会への変わらぬご支援を賜りますようお願いして新年のあいさつとさせていただきます。

主な掲載内容

- ・本会議で審議された議案等 P 2
- ・各委員会委員長報告要旨 P 3～P 4
- ・一般質問 P 5～P 10
- ・議会報告会 P 11
- ・委員会視察概要 P 12

第97回安来市議会定例会（平成30年・平成31年）

平成30年11月2日に開会会議を開催し、定例会の会期を1年とする通年議会がスタートしました。併せて、5件の議案を審議しました。

その後、平成30年12月3日から12月18日に12月定例会議を開催し、16件の議案及び2件の陳情を審議しました。

開会会議 議案等の審議結果

■全会一致で可決、承認等した議案

提出者	番号	件名	提出者	番号	件名
議員	議第1号	安来市議会委員会条例の一部を改正する条例制定について	議員	議第4号	専決処分事項の指定についての一部改正について
	議第2号	安来市議政務活動費の交付に関する条例の一部を改正する条例制定について		市長	議第5号
	議第3号	安来市議会会議規則の一部を改正する規則制定について			

12月定例会議 議案等の審議結果

■全会一致で可決、承認等した議案

提出者	番号	件名	提出者	番号	件名
市長	議第6号	安来市手数料条例の一部を改正する条例制定について	市長	議第14号	平成30年度安来市水道事業会計補正予算（第2号）
	議第7号	安来市火災予防条例の一部を改正する条例制定について		議第15号	安来市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について
	議第8号	指定管理者の指定について		議第16号	平成30年度安来市一般会計補正予算（第6号）
	議第9号	指定管理者の指定について		議第17号	平成30年度安来市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）
	議第10号	指定管理者の指定について		議第18号	平成30年度安来市介護保険事業特別会計補正予算（第2号）
	議第11号	指定管理者の指定について		議第19号	平成30年度安来市下水道事業特別会計補正予算（第2号）
	議第12号	平成30年度安来市一般会計補正予算（第5号）		議第20号	平成30年度安来市水道事業会計補正予算（第3号）
	議第13号	平成30年度安来市電気事業特別会計補正予算（第1号）		議第21号	平成30年度安来市一般会計補正予算（第7号）

■請願・陳情審議結果

番号	件名	所管委員会	委員会結果	本会議結果
陳情第6号	恵乃島工業団地北側農地の市街化区域編入について （※前回定例会継続審査案件）	総務企画	継続審査	継続審査
陳情第1号	広瀬町志多町地区内冠水対策及び水路整備について	地域振興	趣旨採択	趣旨採択

●委員会のうごき

【議会運営委員会】

平成30年11月2日付け

辞任：石倉 刻 夷

澤田 秀 夫

就任：岡本 早智雄

平成30年11月26日付け

正副委員長就任：遠藤 孝（委員長）

葉田 茂 美（副委員長）



11月2日の開会会議より通年議会スタート

各委員会委員長報告要旨

総務企画委員会

委員長 樋野智之

議第7号、議第11号、議第13号、議第15号の議決案件4件は、全会一致で執行部提出原案のとおり可決すべきものと決した。

陳情第6号については、今委員会で結論を出すのは時期尚早であるとの意見が多く、継続審査と決した。
 なお、議第11号及び議第13号については、審査に先立って現地視察をおこなっている。

特に、「議第11号 指定管理者の指定について」では、「観光交流プラザ内に行政サービス窓口が設置されているが、指定管理との関係は。」との質問に対して、執行部からは「当面は利用者のことを考慮し、指定管理とは切り離して直営での運営として残す考えである。今後、コンビニでの交付申請等が定着してくれば、他の自治体同様廃止も検討する。」との答弁だった。

その他、各議案に対して確認の意

味での質疑が数件あったが、いずれも議案に対する異論ではなく、議決案件4件は全会一致で執行部提出原案のとおり可決すべきものと決した。



指定管理となる観光交流プラザ、安来駅前自転車駐車場
 (総務企画委員会)

文教福祉委員会

委員長 佐々木厚子

議第8号、議第9号、議第10号、議第17号、議第18号以上議決案件5件について、全会一致で執行部提出原案どおり可決すべきものと決した。

「議第8号、議第9号、議第10号 指定管理者の指定について」は、安来公園、安来運動公園、安来市養護老人ホーム鴨来荘について、「今年度で指定管理期間が満了となることから指定管理者の公募を行ったところ、いずれも現在の指定管理者である1社のみの申請であった。」と説明を受けた。

安来公園、安来運動公園については、施設の利用状況・運営状況など、施設管理に問題はないことの確認をした。

安来市養護老人ホーム鴨来荘については、指定管理者へのチェック体制や職員研修などについての質問が出た。「入所者の意志と人格を尊重し、常に入所者の立場に立ち、自立のための生活支援サービスを提供することを理念に掲げて事業を実施されており、現在の管理・運営に問題はない。」との説明を受けた。

委員からは、施設の老朽化を懸念する意見があり、「以前から建て替えの話は出ているが、依然として進んでいない。入所者は長年、安来市民として貢献された方々であり、もう少し真剣に考えるべきだと思う。財政状況のこともわかっているので、すぐには難しいと思うが、方法を模索し、法人とも協力しながら進めていってほしい。」との要望があった。



介護医療院「昌寿苑」で話を伺う
 (文教福祉委員会)

地域振興委員会

委員長 中村 健 二

議第6号、議第14号、議第19号、議第20号の議決案件4件は、全会一致で執行部提出原案のとおり可決すべきものと決した。

また、陳情第1号は全会一致で「趣旨採択」と決した。

「議第6号 安来市手数料条例の一部を改正する条例制定について」、執行部より、本会議で質問のあった申請者の負担に関して、「今回の改正で許可申請から認定申請になったことにより手数料は減となる。」と補足説明があった。

「陳情第1号 広瀬町志多町地区内冠水対策及び水路整備について」は、事前に現地視察を行い、地元の人陳情者の方々から話を伺った後に、慎重に審議を行った。

水路整備について、「側溝蓋がない箇所の転落防止には柵をすることも有効ではないか。」という案も意見として出た。

一方、冠水対策については、この地区内の水路、側溝だけの問題ではなく、下流からの対策を含めて全体的な改善策を考えないと根本的な解

決にはならないという意見が多数あった。

対策を進めることは必要であるが、現時点で具体的な改善策が見通せず、時間も費用もかかる問題であることから、全会一致で趣旨採択と決した。



陳情のあった広瀬町志多町地区の現地確認
(地域振興委員会)

予算委員会

委員長 作野 幸 憲

「議第12号 平成30年度安来市一般会計補正予算(第5号)」について、歳入及び債務負担行為補正、地方債補正の補足説明を受けた後に審議し、続いて、歳出及び債務負担行為補正も款別に補足説明を受けた後に審議を行った。

審議内容の主なものについて、歳入では「債務負担行為補正の中で、観光交流プラザの指定管理料の積算根拠は。」の質問に対して、「平成29年度決算額及び平成30年度当初予算額を基礎とし、観光交流プラザ内の行政サービスコーナーを除く光熱水費、管理委託料、その他の維持管理費に自転車駐車場の施設維持管理費を加えたものに、来年10月からの消費税増税分を見込んだもの。」との答弁だった。

また、「9月定例会で議決された、工業団地整備事業に対する損失補償の債務負担行為について、その後の進展はないのか。」との質問に対して、「まだ、分譲価格が決定していないため進展はない。なお、分譲価格等、諸事項が確定する前段で議決

との協議の場を設定させていただきたい。」との答弁だった。

歳出では、3款民生費の障がい児通所支援事業において、「当初の見込みに対し、放課後等デイサービスの利用が急激に増加したとの説明であったが、その原因を伺う。」との質問に対して、「昨年度より事業対象施設の一つがサービスの定員を増やしたことから、サービス提供施設が1施設増加したこと、更には多くの日中の一時サービス利用者が放課後等デイサービスに移行されたことによるものと考えている。」との答弁だった。

以上のような質問があったが、いずれも本補正予算に直接影響する案件ではなく、採決の結果、「議第12号」は全会一致で可決すべきものと決した。

引き続き、「議第16号 平成30年度安来市一般会計補正予算(第6号)」については、歳入歳出全款について一括して執行部より説明を受けた後に審議に入ったが、委員からは特に質疑・意見等はなく、採決の結果、「議第16号」については、全会一致で可決すべきものと決した。



至誠の会
石倉 刻夷

平成31年度
予算編成方針について

質問 公共施設等総合管理計画を進める中で、予算編成方針を伺う。

答弁 ①第2次安来市総合計画の基本理念による町づくり。②まち・ひと・しごと創生による総合戦略事業の推進。③事業の選択と重点施策の取り組み。④第3次行政改革大綱、実施計画の実行。⑤税の収納率向上、市有財産の活用等財源の創出。⑥事務事業の見直し、行財政改革の検証による予算化。以上の6点の項目を掲げ当初予算の編成を行う。

質問 山城サミットの総括と今後の戦略について伺う。

答弁 参加自治体は、過去最多の26団体、戦国尼子フェスティバルと合わせ1万2千人の参加で、広く情報発信でき、月山富田城跡の歴史を伝え活用する思いが共有でき大きな成果があった。今後、各種団体、関



係課が今以上に連携し、継続して魅力を発信できる事業を展開したい。

質問 人権施策の推進について伺う。

答弁 5年毎の「人権に関する市民意識調査」により、人権啓発、人権教育を推進するため各種事業に取り組んでいる。人権課題は多岐にわたり、身近で重要である。今後も調査結果をふまえ諸施策を推進する。

質問 森林環境譲与税について、有効活用を願うが、どのように林業振興に活用されるか伺う。

答弁 森林環境譲与税は、試算で1263万円余で段階的に増額されるが、間伐や人材育成、担い手の確保等、森林整備に関する費用に充て、使途の公表が義務化される。

その他 他に「耕作放棄地の有効活用について」、「10連休の観光振興施策について」質問した。



市民クラブ
澤田 秀夫

財政の健全化に向け
中期財政計画を確認

質問 平成31年度の予算計画について、昨年の計画より1億1500万円増の理由は。

答弁 中期財政計画は、各項目および事業の積み上げによる増減の結果であり、具体的な事業や特定の事業を示すことは困難である。

質問 事業の見直し効果額について、金額と中期財政計画への反映は。

答弁 毎年度、各項目および事業の見直しにより、積み上げて算定している。効果額については、毎年度大きく効果額が算出され続けるものではなく、見直しを含めた積み上げの結果が中期財政計画に反映されている。

質問 投資的経費について、昨年計画された事業の他に追加や変更があった事業内容は。

答弁 旧消防庁舎解体および整備に平成31年度、1億8000万円を計上していたが、前倒して平成30

度、5600万円完了の予定である。

追加等については、中期財政計画上であり、その実施を確約するものではないが、工業団地造成関連事業や新規道路改良事業等を計画している。

質問 基金の取崩し額について、昨年の計画より1億9600万円増の理由は。

答弁 基金の設置目的に沿った事業への充当を計画しており、取崩し額の増については定住推進のための事業、起債充当とならない各施設の維持修繕経費、ふるさと寄附への返礼等を計画している。

質問 繰出金について、平成32年度から減額となる要因は。

答弁 後期高齢者医療事業、介護保険事業への繰出金であり、現状を勘案し給付費の伸びの鈍化を見込んだことによるものである。

質問 地方債残高について、健全化と言われるところまで減少するのはいくらく頃か。

答弁 384億7900万円余となる平成29年度末がピークであり、大型事業の建設に伴う起債借入の償還が平成40年度から順次終了することから、平成40年度には実質公債費比率は12%台、地方債残高も200億円を切るものと推計している。



新政月山
足立 喜信

山城サミット後の 月山周辺整備について

質問 9月の山城サミットは、関係各組織・ボランティアの皆さんなどたくさんの方々の協力のもとで行われた。この一大事業が終わり、担当部として、その効果と反省をどう総括されているか伺う。

答弁 天候にも恵まれ、戦国尼子フェスティバルと合わせ、1万2千人の方が来られ大成功であった。引き続き、関係課や各種団体とさらに連携を密にして、課題への対応を図っていききたい。

質問 安来市の発展のためには、大平寺橋の架け替えと、富田山荘の改築、安来のまちへの大型ホテル建設が必要と考えるかどうか。

答弁 富田山荘については老朽化による見直しが必要。ホテルは民間による建設を期待する。大平寺橋の架け替えは、中長期的課題として検討していく。

質問 月山周辺の今後の施策について、草刈り等どのようにするのか。また、堀尾吉晴公の墓の周辺は整備するのかを伺う。

答弁 今まで隠れて見えなかった石垣や曲輪などの遺構群を見えるように整備をしてきた。今後は整備により広範となった場所の草刈り等を効率的に進めていくために、地元各種団体にも協力いただきながら適正管理に努めていく。また、吉晴公の墓所は観光スポットの一つであり周辺整備に努めていきたい。

質問 日立製作所の竹改質装置についてどのような感想をお持ちか伺う。

答弁 竹類を改質しバイオマス燃料として使う技術は地球温暖化対策や森林資源の有効活用資するものだと思われる。しかし、現時点では多額の経費がかかるものであり、今後バイオマスエネルギー政策を推進する中で参考にしていきたい。

質問 森林環境税の使途と他市町村が行っている施策について伺う。

答弁 森林税の具体的使途は平成31年3月の予算委員会で説明する。雲南市では、市民のみなさんが間伐材を山から収集・運搬し、チップ燃料として利用する事業などを行っている。



政進クラブ
岩崎 勉

農地の市街化区域編入と、道の駅について

質問 農業振興地域内の農用地区域内の変更方針、農地転用の許可方針について伺う。

答弁 恵乃島干拓農地は農業振興には大切な農地と考えていることから、「農業振興地域の整備に関する法律」に基づいて保全すべき優良農地の区域の農業振興地域内「農用地区域」に位置づけられており、農地以外に転用することが農地法上禁じられている。仮に市街化区域に編入されれば、農業振興地域外となり農地転用は届出で可能。

質問 農林水産部の回答を踏まえた上で、政策推進部としての考え方を伺う。

答弁 農業振興の重要性は十分に理解している。一方で、雇用の場の拡大を図るといふ観点で、市内企業の事業拡大にも対応していかなければならない。近年は航空機産業への

参入を目指す活動が本格化。先端金属素材グローバル拠点創出事業が地方大学・地域産業創出交付金の採択を受けた。今後、市内企業の事業拡大は活発化していくと予想されるため、当該案件は市として取り組む必要性のある課題と考えている。

質問 近藤市長の考えを伺う。

答弁 安来にとっては農業も工業も基幹産業である。地権者の皆さんとも協議を行い、調整しながら進めて行こうと考えている。

質問 道の駅あらエッサの施設再整備と、周辺の道路整備について伺う。

答弁 なかうみ菜彩館は、年間約18万人が利用。1日平均約500人。既存施設の周囲に十分な敷地がないため施設整備・拡張等については、なかうみ菜彩館のみではなく道の駅あらエッサ全体の整備計画の中で検討すべきと考えている。

また、国道9号と接する未買収であった三角地部分を敷地拡張のため調査と一部工事を本年度から行う計画。

国道9号交差点については、公安委員会でも信号機設置検討がされていると聞いているが、引き続き設置に向け要望を行っていく。



公明党
佐々木厚子

障がいがある人も共に 等しく暮らせるまちに

質問 同行援護サービスはどのような時に利用できるのか。

答弁 視覚障がいにより、移動に著しい困難を有する障がい者、高齢者が、通院や施設利用、買い物などの日常生活の支えが必要な時に利用できる。しかし、必要な資格のある職員や専門の研修を修了した職員が対応することになっているため、調整が必要である。

質問 出雲は、「くにびきマラソン大会」で活躍されている「愛走フレンズ」という伴走組織があるが、安来市も「なかうみマラソン全国大会」の時に利用できる伴走ボランティア組織を作る考えはないか。

答弁 安来市は前日、当日と合わせ延べ700人以上のスタッフで運営している。新たな伴走組織の取り組みができるかは今後研究してみる。

質問 他市では障がい者の方のバス代が無料、介護者も無料のところがあるが安来市はイエローバス代を無料にする考えはないか。

答弁 イエローバスは運行開始当時より変更なく一律200円の低料金で喜んでいただいている。バス料金無料化については今後調査、検討していく。

質問 安来市は公共機関に「誘導チャイム」「歩行誘導マット」が未設置のようだが、平成33年度に安来市で島根県視覚障害者福祉大会が開催されるにあたり、この機会に設置される考えはないか。

答弁 誘導チャイムなどは設置していないが、点字表記のインターホンや、点字ブロックなどで対応し、それぞれの職員が誘導させていたでている。福祉大会の開催の折には設備の面だけでなく、障がい者に理解のあるボランティア組織を結成するなど、最大限の配慮をしていく。

質問 障がい者の方が福祉タクシーを利用する際、介助者がいないと利用できないなどとても使い難いものだと思うが、もう少し使いやすいものにならないか。

答弁 現状としては厳しい。利用者も理解をいただきたい。



政進クラブ
飯橋 由久

まち・ひと・しごと 創生総合戦略について

質問 総合文化ホール「アルテピア」の道路案内表示が非常に少なく、市外・県外から来られるお客様に不便をかけていると聞く。また表示内容も統一性が無い状況だが、今後の考えは。

答弁 国道9号線への設置については何度も国土交通省と協議を行っているが、思うような場所への設置が難しいとの回答で、苦慮している。現在、民地及び電柱に案内標識を設置できないか調査を行っている。来年度に向け、前飯島交差点や錦町交差点方面からも誘導出来るような案内表示について検討を進めていく。

また、今後設置するものについても「アルテピア」をメイン表記として考えている。今まで設置したものも含め統一出来ないか再検証し、分かりやすく来場いただけるよう検討を進めていく。

質問 イエローバスが1月1日、3日の正月三が日は連休となっているが、なぜ連休になっているのか、運転免許返納者が今後増えてくるにあたって生活バスとして正月の運行も必要となってくるのではないか。

答弁 バス利用目的の中心である病院・学校・市の関係施設が休みであることから正月は連休としている。道路交通法の改正による高齢者の運転免許証自主返納は増加しており、車以外の移動手段の重要性が高まっていることは承知している。今後、正月三が日前後の年末年始のイエローバス利用者の動向等を勘案しながら調査・検討していく。

質問 安来一中の吊天井改修後の音響が悪くなったと聞くが、他校も含めて今後の対応について。

答弁 一部の学校から天井材の落下防止のため吊天井を撤去したことにより、音が反響して場所によっては聞き取りづらいとの報告を受けている。

児童・生徒の安全を第一に考えて吊天井の撤去を行ったが、音響については調査を行い、対策を考えていく。



会友 燦
作野 幸憲

チャレンジ!!スマート農業

農産物のブランド化とスマート農業について

質問 安来市が先頭に立って、県J A、営農組織の連携を進め、農産物のブランド化を推進していくべきと考えるがいかがか。

答弁 安来市には米、イチゴ、有機野菜野菜、花卉、ヒマワリ、菜種、ソバ、大豆、麦など多くの特産品がある。しかしながら、量的には十分ではない。量的なところ及びブランド化を進めていくには集落営農法人が連携し、統一した高収益作物を計画的につくらなければならないと考える。市としては、県農業普及部、J A、集落営農組織と連携して、高収益作物の検討から、今後の担い手不足の対応などを協議していきたい。

質問 高齢化や担い手不足から今後スマート農業は、安来市の農業にとっても不可欠だし、実践する環境

は整っていると思う。今後市はどのような展開を考えているのか。

答弁 今後人口の減少と高齢化が進めば、後継者不足と労働力不足はさらに厳しい状況となる見込み。ロボットやICTなどの先端技術を活用したスマート農業は、新たな担い手への農業技術の継承や労働不足の解消などにつながる技術として期待している。取り組みができるものから推進しなければならないと考えている。

安来市の人口ビジョンと各種計画について

質問 第2次安来市総合計画の基本計画前期(2016～2019年度)の最終年度に当たる2019年度に、安来市の人口ビジョン(2060年に人口3万人を目標)を見直す考えはあるか。

答弁 安来市では、2019年度に第2次総合計画、後期基本計画を策定することになっているが、この策定に当たっては現状分析が重要な要素の一つであるので、社人研の最新データも踏まえながら、人口ビジョンについても見直しが必要なのか否かを検討していく。



創世
三島 静夫

まちづくりと文化振興について

質問 交流センターへの市からの事業費や運営費はどの様な計算で決定しているのか、また、そのような計算方法を採用されるのはなぜか伺う。

答弁 交流センターの管理費については、前年までの実績、事業費については予算額を24地区に均等割と地区内人口に基づく人口割をもとに配分しており、それぞれ交流センターの自主性、事業の継続性等を配慮している。

質問 休日に主事が出勤した場合の手当はどのようになっているのか伺う。

答弁 休日に主事が出勤した場合、手当を支給するのではなく振替休暇を取得となる。

質問 代休として主事が休む場合、小規模館では開館されない状況になると考えるがどうか伺う。

答弁 主事1名配置の交流センターにおいて主事が代休で休む場合については、館長が対応となる。

質問 学校行事で総合文化ホールアルテピアを使いたい場合、使用料が発生するのか、また、発生しない場合の使用料はどこが負担するのか伺う。

答弁 学校行事に関わらず行政主催事業についても利用料金は発生する。ただし、その利用料金の支払いについては、文化スポーツ振興課が一括して予算計上し負担している。

質問 みんなで唄う安来節「新人安来節コンクール」「新人どじょう掬いコンクール」について、以前市職員が参加していた経緯と、近年出場が無いのはなぜか。

答弁 コンクールの運営者である安来節保存会の本部道場事務局に確認したところ、安来節保存会から市職員労働組合に対し要請があつて始まり、伝統的な民謡を市の職員は知っておくべきとのことから、新人研修の一環として、コンクールに参加していたようだ。平成27年度頃までは参加があつたようだが、最近は特に要請もされていないため、近年出場が無いと思われる。



市民クラブ
岡本早智雄

災害時等における 情報提供について

質問 災害時緊急時の情報がわからないとの声を聞く。先日の台風24号も、伯太川堤防が決壊寸前であったことが翌日にわかった。24号台風時にどのような情報提供を行っていたのか伺う。

答弁 行政告知放送・屋外スピーカー・市HP・ツイッター・どじょつこTVのL字テロップ・消防団等による広報活動等にて情報提供した。各メディアでの報道による情報提供にも努めている。

台風24号の際、これらで避難所開設、避難準備・高齢者等避難開始など、情報提供を行った。

質問 防災行政無線が在ればという声が多く聞かれた。行政告知端末も火災でケーブルが切れ近隣では使えなくなった事もあった。そのような際に使えないのなら意味が無い。受信機ごとに情報提供ができる防災

行政無線の必要性について、市の考えを伺う。

答弁 防災行政無線は、有線式の行政告知放送を補完する有効な手段のひとつと考えている。H34年に現行のアナログ式防災行政無線が使用できなくなることから、全市域をカバー出来る無線網を検討している。

質問 旧伯太町では防災行政無線で火災情報も知らせていた。消防車両出勤時に、発生地区などを知らせてもらえないかとの声を聞く。消防車両等の出勤について、HP等で公開している市町村もある。また、エリアメール等も有効ではないか。市民向け情報提供の考え方を伺う。

答弁 NTT回線による「火災問い合わせサービス」を利用して頂くよう市HPにより知らせている。また、行政告知端末でも火災発生時に該当地区への情報提供を実施。消防団への出勤要請は、班長以上へメールにて実施。

今後、防災ヘリ等の離着着への支援出勤、サイレン吹鳴で出勤する消防車両も「問い合わせサービス」により情報提供できるよう努力する。また、このサービスについて周知に努めたい。



日本共産党
原田貴与子

景気に打撃、市民負担増の 消費税増税中止を

質問 深刻な消費不況が続き、貧困と格差が拡大している。国に増税中止を求めるべきである。

答弁 社会保障と税の一体改革において消費税率の引き上げで財源を確保することは必要であると考えている。

質問 学校給食費無料化の検討を。

答弁 学校給食の保護者負担は食料費のみである。給食センターになり、伯太中の場合、340円から315円に安くなっている。経済的な理由があれば、就学援助で給食費を概ね全額助成している。

質問 市は自給率向上のために、学校給食食材の地元産を増やすべきである。対応策はどうか。

答弁 白米、牛乳、卵は100%安来市産であるが、肉、魚類はほとんど市外産である。野菜類は、食数が今年度2600食に増えたこと、猛暑の影響で納品数量等の問題から

安定的な使用に至っていない。地産地消の専門部会を10月に立ち上げて使用促進を図っている。

質問 台風24号で、伯太川が東母里地内で決壊寸前となったことから、市民は災害防止の河川対策を切望している。県への要望と対応はどうか。また、避難誘導のあり方や、住民への情報提供体制についても不安の声を聞いている。見解を伺う。

答弁 河川の巡回パトロールと、市や地域からの要望や情報提供により、県は現地確認をし、必要な対応をしている。県全体の河川事業がある中で、安来の優先事業として位置づけられた整備計画箇所が多く残っている。早期の対応は困難である。川底のしゅんせつや樹木の伐採等の要望を行っているが、県においては基準等に照らし合わせた対応がされている。

災害時は、告知放送、どじょつこTV、市のHP、テレビ、ラジオ等からの情報で自助、共助をいただいている。

質問 危険度が高い空き家の対応策は。

答弁 所有者等に対して、修繕による適正管理や解体など助言、指導をしている。市の除却助成事業を紹介する等早期の対応を促している。



日本共産党
向田 聡

先生の働き方と子ども 学習環境の改善を

質問 1990年前後からの不登校・いじめなどの教育の複雑さの増加や2000年以降様々な教育改革による業務の付加が、教職員の多忙化に拍車をかけていると考えるがどうか。

答弁 学習指導要領の改訂のたびに授業時数が増えたり、教育と名のつくものは全て学校に入ってきたりしている。また、不登校・いじめ・個別支援など、より細やかな対応が必要になった。さらに、行事に係わる準備や部活動の大会等も増えてきた。こうした中で、教材研究・校務分掌の仕事・打ち合わせ等しなければならなくなっている。

質問 長時間勤務を是正することは、先生方の持ち時間数の上限を定め教員定数を抜本的に改善することがどうしても必要である。国に強く求めていく考えはないか。

答弁 教職員の定数改善、学級編成の基準の見直しなど、全国の都市教育長会からも国の方へ要望を出しているところである。

質問 今、国は教職員の変形労働時間制の導入の検討も進めているが、これは長時間労働の根本的な解決にはならないと考えるがどうか。

答弁 変形労働時間制を導入しても、業務が減るわけではないため、根本的な解決にはならないと感じている。

質問 小学生のランドセル問題が、今年話題になった。安来でも子どもや保護者からも大変だという声が上がっている。今後の対策は。

答弁 家庭学習で使用する予定のない教材等については、学校に置いてもよいとしているが、今後、保護者の理解を確実にするために、文書によって保護者への連絡を徹底したい。新入生については、入学説明会等できちんと対応していきたい。

質問 安来市は普通教室へのエアコン設置率は100%だが、今後特別教室への設置に向けて、臨時特別交付金等を活用していく考えはないか。

答弁 現在、臨時特別交付金を活用した特別教室へのエアコン整備計画を国に提出中である。



市民クラブ
原瀬 清正

幼児教育・水道事業について

質問 幼児教育振興法案が公表された中で、幼児教育推進体制の充実・活用強化事業についての本市の考え方は？

答弁 島根県は今年4月に幼児教育センターを開設し、事業の方針やプログラムの作成、県内保育施設への訪問、保育士・幼稚園教諭の研修等、本格稼働に向けた段階的な計画が立てられたところである。今後はセンターとの調整を密にして連携体制を構築し、本市の教育・保育に反映したいと考えている。

質問 各公立施設本体・付帯部分の老朽度及び耐震性状況と遊具の使用状況、更新工事の必要性及び計画は？

答弁 公立保育施設の園舎は、全て耐震基準に適合している。また、園内の付帯施設を含め、必要に応じて修繕や改修工事を行っており、十

分な安全性を確保していることから更新工事計画は考えていない。屋外遊具は毎年、国の安全基準による点検を実施しているが、全国各地で発生した事故を受け、今年度からより厳格に診断されたため、各保育施設及び小学校でも一部の遊具を急遽、使用禁止としている。遊具の修理、更新に向けた対応を検討している。

質問 水道事業における今後の財政計画及び課題は？

答弁 ①人口減少による給水収益の減少。②老朽化が進む各施設の建設改良および耐震化への対応。③技術職員の確保が課題である。課題は他にもあるが、水道サービスの持続性を確保して危機管理への対応も考慮しつつ、安全な水を供給していくことが使命だと考えている。財政については、料金の激変緩和措置終了後に収益的収支は赤字で推移する見込みであり、加えて国庫補助制度、企業債の活用で安来市水道ビジョンにおける各施設や管路の整備計画は着実に実施できると考えている。



第13回議会報告会を開催しました

11月21日、22日に市内5会場で議会報告会を開催しました。

●参加者の状況

開催日	会場	出席者数			
		男	女	議員・職員	計
11月21日 (水)	社日交流センター	9	1	0	10
	大塚交流センター	3	0	0	3
	井尻交流センター	5	0	0	5
11月22日 (木)	荒島交流センター	5	0	0	5
	広瀬中央交流センター	4	0	1	5
合 計		26	1	1	28

●年 齢

※アンケート回答者のみ

30代	2
40代	2
50代	4
60代	6
70代	6
80代	3
計	23

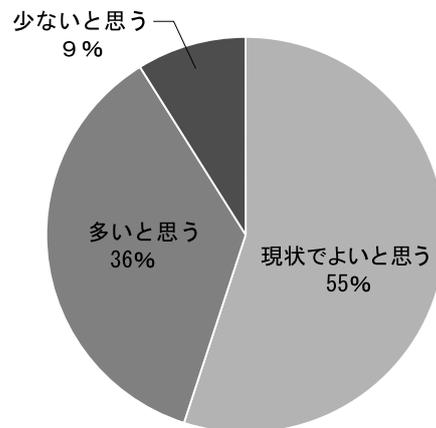
●議会報告会での主な質問、意見（項目のみ掲載）

- | | | |
|--|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 財政問題について ・ 防災関係について ・ 議員定数について ・ 児童公園について ・ 議会運営、通年議会について ・ 議会のTV中継について ・ 災害時の要支援者救済について ・ 旧秦邸のバスターミナル化について | <ul style="list-style-type: none"> ・ 児童虐待について ・ 年金問題について ・ 工業団地造成計画について ・ 交流センターの機能について ・ 空き家対策について ・ 政務活動費について ・ 行政告知端末について ・ 婚活事業について | <ul style="list-style-type: none"> ・ 市立病院について ・ 議会報告会のあり方について ・ 決算認定の議決結果について ・ 中山間地域支援について ・ 障がい者雇用について ・ 河川の整備について ・ 要支援者台帳について ・ 安来道のパーキングエリアについて |
|--|---|--|

●議員定数についてのアンケート結果（現在の定数は21）

現在の定数21について	回答者数
現状でよいと思う	12
多いと思う	8
少ないと思う	2

適正と思う定数	回答者数
16人	1
17人	1
18人	3
19人	2
20人	1
24人	1
25人	1



■市長への報告について

各会場でいただいたご意見を精査した結果、下記の項目については市へ要望すべきであると判断し、12月20日付けで市長へ報告を行いました。

1. 告知端末機の新規設置は無償としてほしい。
2. 避難所開設と同時に職員が現場確認し、住民に対し危険周知を徹底してほしい。
3. 婚活事業を市として積極的に取り組んでほしい。
4. 災害等の情報提供方法をもっと検討してほしい。またもっと身近な情報内容としてほしい。
5. 伯太川はダムもなく水害の危険が高いため計画的に土砂撤去をしてほしい
6. 荒島交流センターは避難場所に指定されているが、駐車場・進入路ともに狭く緊急車両が入れない。また、駐車場は借地であるため改善してほしい。
7. 広瀬交流センターの耐震対策及び夜間小学校等への避難所対策について要望する。

平成30年度
各委員会視察概要

■総務企画委員会

日 程 7月4日～6日

■主な内容

- ・岡山県真庭市
- 「公共施設リノベーション事業について」

・高知県南国市

「消防団活動と防災事業について」

・愛媛県新居浜市

「奨学金返済支援事業について」

■文教福祉委員会

日 程 7月11日～12日
10月23日～24日

■主な内容

・愛媛県今治市

「今治市発達支援センターについて」

・香川県さぬき市

「学校再編計画について」

・兵庫県宍粟市

「子育て世代包括支援センターの取り組みについて」

「第3子以降の学校給食費無料制度について」

・兵庫県赤穂市

「スポーツ都市宣言について」

■地域振興委員会

日 程 7月2日～3日

■主な内容

・山口県下関市

「ジビエ有効活用推進事業について」

・大分県玖珠郡玖珠町

「第11回全国和牛能力共進会への取り組みについて」

■議会運営委員会

日 程 8月21日～23日

■主な内容

・石川県加賀市

「議会改革の取り組みについて」

・新潟県上越市

「議会改革の活性化について」

・長野県千曲市

「千曲市家庭教育支援条例について」

■島根原子力発電対策調査特別委員会

日 程 7月25日～27日

■主な内容

・茨城県水戸市、那珂市

「日本原子力発電(株)との新たな安全協定書締結に至るまでの経緯と締結後の状況について」

・青森県六ヶ所村

「原子燃料サイクル施設の稼働状況等について」



六ヶ所原燃PRセンターで説明を受ける
(島根原子力発電対策調査特別委員会)



加賀市で議会改革の取り組みを伺う
(議会運営委員会)

※視察の詳細及び報告書はホームページをご覧ください。



<https://www.city.yasugi.shimane.jp/gikai/gikainitsuite/shisatsu/h30iinkai-shisatsu.html>

議会だよりを
スマートフォンで！

無料アプリ「マチイロ」でやさぎ市議会だよりの配信を開始しました。

ダウンロード及び

安来市のページは

こちら↓

(市報と共同掲載)



編集後記

謹んで初春のお慶びを申し上げます。

安来市議会第5期も一年を経過いたしました。そして議会改革に伴う通年議会も昨年11月より始まりました。二元代表制の一翼として市議会もより活性化し、市民の皆さまの付託に応えるべく努力して参りたいと思っております。

また、議会だよりも、より市議会を知っていただくために今後も誌面の充実を図って参ります。ご意見・ご感想をおまちしております。よろしくお願い申し上げます。

広報広聴委員会